



TITLE:

表紙・投稿規定・会議報告・ニュース・プレプリント案内・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・会議報告・ニュース・プレプリント案内・編集後記
・目次・裏表紙ほか. 物性研究 1966, 6(1): 46-52

ISSUE DATE:

1966-04-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/85873>

RIGHT:

昭和41年4月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第6巻第1号

vol.6 no.1

物性研究

1966 | 4

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスペリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。

○別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため、原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式・記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスペリントが生じないように適当な処置をとって下さい。
4. 図の縮尺はいたしません。図は不必要に大きくせず、それぞれ適当な大きさに画いて下さい。

○別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別刷代は下記の方式により現金で前納していただきます。

P : 400 字詰原稿用紙による頁数

X : 別刷所要部数

別刷代=0.6XP円

購読規定

1. 本誌は「物性研究購読会」の会員にのみ配布します。
2. 「購読会」の会員には個人会員、機関会員の別があります。会費を個人が支払うばあいを個人会員とし、機関が支払うばあいを機関会員とします。
3. 個人会員には入会の際、入会金 100円を納めていただきます。退会の際には入会金はお返ししません。機関会員は入会金を要しません。
4. 会費は月額、個人会員 160円、機関会員 300円とします。
5. 会費は前月中に前納していただきます。会費が前納されなかったときは雑誌の発送を停止し、会費を2ヶ月以上滞納した会員は退会したものとみなします。

会議報告

3月11日に開かれた共同理用委で決定、物性研究協議会、所員会で承認された短期研究会の一覧表を掲げる（但し41年度前半分）

研究会名	期間	提案者	参加人員	旅費
1 イオン性結晶の フォノン	41.5.23 41.5.25 (3日間)	東北大学教授(理) 森田章 東北大学教授(工) 堀江忠児 大阪大学助教授 三石明善 物性研 助教授 小林浩一	100 都内0 都外19	265,665
2 中性子散乱によ る物性の研究	9月下旬 (2日間)	大阪大学教授(理) 国富信彦 物性研 助教授 星野禎明 物性研 助教授 石川義和	30 都内2 都外19	251,585
3 生体高分子の相 互作用特異性	5月中旬 (2日間)	東京大学助教授(理) 和田昭充 大阪大学教授(基工) 小谷正雄 京都大学教授(理) 寺本英 物性研 助教授 井口洋夫	35 都内5 都外11	134,840

4	レーザーと 非線形光学	7月中旬 (2日間)	東京大学教授(理) 霜 田 光 一 東京大学教授(教養) 宅 間 宏 物性研 助教授 矢 島 達 夫 物性研 助教授 豊 沢 豊	1 0 0 都内 1 8 都外 1 1	135.045
5	高圧下の物性	7月中旬 (3日間)	東北大学教授(金研) 広 瀬 徳 太 郎 東京大学教授(金研) 神 田 英 蔵 東北大学教授(金研) 袋 井 忠 夫 広島大学教授(理) 辰 本 英 二 物性研 教授 山 下 次 郎 物性研 助教授 箕 村 茂	4 0 都内 0 都外 1 7	240.210
6	稀土類金属及 び化合物の 物性	5月中旬 (3日間)	京都大学教授(理) 高 木 秀 夫 東北大学教授(理) 糟 谷 忠 雄 物性研 教授 菅 原 忠 物性研 助教授 近 角 聰 信	4 0 都内 2 都外 2 2	218.655

会議報告

			物性研 助教授		
			菅 野 暁		

注： 参加人員欄の下2行は旅費支給者

計 1,246,000

共同利用施設専門委員会名簿

所	属	氏 名	任	期
---	---	-----	---	---

物小委から推薦（15名）

北 大(理) 教授	三 井 利 夫	40.6.1 ~ 42.3.31.
東北大理) "	神 田 英 蔵	"
" "	森 田 章	"
東 大理) "	小 野 周	"
京 大理)	長谷田 泰一郎	"
阪 大理)	金 森 順次郎	"
" "	伊 達 宗 行	"
○北大理) "	宮 原 将 平	41.4.1 ~ 43.3.31.
○東大理) "	植 村 泰 忠	"
○名大理) "	益 田 義 賀	"
○ " "	確 井 恒 丸	"
○京大理) "	富 田 和 久	"
○阪大理) "	国 富 信 彦	"
○ " (基工) "	伊 藤 順 吉	"
○九大理) "	森 肇	"

日本化学会からの推薦

名 大工) 経授	野 田 稻 吉	40.6.1. ~ 42.3.31
----------	---------	-------------------

阪大理) 教授	千原秀昭	40.6.1.~ 42.3.31.
○東大理) 教授	赤松秀雄	41.4.1.~ 43.3.31.

工学、原子核関係、その他(3名)

東大生研教授	菊地真一	40.6.1.~ 42.3.31.
東大核研助教授	坂井光夫	40.6.1.~ 42.3.31.
	未定	41.4.1.~ 43.3.31.

注 ○印は今回推薦のもの

ニ ュ ー ス

4月に移動する人

都 福 仁 氏	阪大物理伊達研より北大理物理極低温研へ。
三本木 孝 氏	松下東京研究所より北大理物理磁気研へ。
宮 原 将 平 氏	東大理物理研より北大へ帰任。
朝 日 孝 氏	京大理物理寺本研より北大物性理研へ帰任。
堀 淳 一 氏	北大理物性理論研より京大基研非常勤研究員として7月まで滞在。

プレプリント案内

(森田研)

- ・ The Three Body Collison Oprator in Quantum Mechanics
II Renormalization and Quasiparticles. (P. Riaibois)

(武田研)

- ・ Plasmon Excitation by Charged Particles outside a Metal Film (N. TAKIMOTO)

阪大理) 教授	千原秀昭	40.6.1.~ 42.3.31.
○東大理) 教授	赤松秀雄	41.4.1.~ 43.3.31.

工学、原子核関係、その他(3名)

東大生研教授	菊地真一	40.6.1.~ 42.3.31.
東大核研助教授	坂井光夫	40.6.1.~ 42.3.31.
	未定	41.4.1.~ 43.3.31.

注 ○印は今回推薦のもの

ニ ュ ー ス

4月に移動する人

都 福 仁 氏	阪大物理伊達研より北大理物理極低温研へ。
三本木 孝 氏	松下東京研究所より北大理物理磁気研へ。
宮 原 将 平 氏	東大理物理研より北大へ帰任。
朝 日 孝 氏	京大理物理寺本研より北大物性理研へ帰任。
堀 淳 一 氏	北大理物性理論研より京大基研非常勤研究員として7月まで滞在。

プレプリント案内

(森田研)

- ・ The Three Body Collison Oprator in Quantum Mechanics
II Renormalization and Quasiparticles. (P. Riaibois)

(武田研)

- ・ Plasmon Excitation by Charged Particles outside a Metal Film (N. TAKIMOTO)

阪大理) 教授	千原秀昭	40.6.1.~ 42.3.31.
○東大理) 教授	赤松秀雄	41.4.1.~ 43.3.31.

工学、原子核関係、その他(3名)

東大生研教授	菊地真一	40.6.1.~ 42.3.31.
東大核研助教授	坂井光夫	40.6.1.~ 42.3.31.
	未定	41.4.1.~ 43.3.31.

注 ○印は今回推薦のもの

ニ ュ ー ス

4月に移動する人

都 福 仁 氏	阪大物理伊達研より北大理物理極低温研へ。
三本木 孝 氏	松下東京研究所より北大理物理磁気研へ。
宮 原 将 平 氏	東大理物理研より北大へ帰任。
朝 日 孝 氏	京大理物理寺本研より北大物性理研へ帰任。
堀 淳 一 氏	北大理物性理論研より京大基研非常勤研究員として7月まで滞在。

プレプリント案内

(森田研)

- ・ The Three Body Collison Oprator in Quantum Mechanics
II Renormalization and Quasiparticles. (P. Riaibois)

(武田研)

- ・ Plasmon Excitation by Charged Particles outside a Metal Film (N. TAKIMOTO)

東北大 (広池研)

- Connected - Diagram Expansion of Transport Coefficients.
I. Electron - Impurity System System.
II. Quantum Gas obeying Classical Statistics.

(S. FUJITA)

- Point Transformations and the Hard Sphere Bose Gas.

(F. M. EGER and E. P. GROSS)

(堀江研)

- The Energy and Specific Heat due to an Impurity Atom in a Dilute Alloy (B. Kjöllerström, D. J. Scalapino, and J. R. Schrieffer)
- Strong Coupling Superconductivity I.
(D. J. Scalapino, J. R. Schrieffer and J. W. Wilkins)

編 集 後 記

編集長の碓井さんがこのたび名大に移られて、ふつつかながら私が編集の責任を引受けることになりました。

御承知のように「物性研究」は1962年7月号を最後に休刊になった「物性論研究」の後を受けて1963年10月に初刊が発行されたものです。終戦直後の研究者間の連絡組織や発表の場が十分でなかったときに「物性論研究」の果たした役割は大きなものでしたが、やがて基研が生れて研究会がたびたび開かれ、更に大規模な物性研が出来て研究者相互の連絡がよくなると、以前の(物性論研究) → (英文の paper) の順も(研究会) → (英文の paper) で十分合わせられると考えられるようになりました。すると英文にする程のこともないが「物性論研究」にでも投稿しておくかと云うようなものも現れて量・質共に低下して休刊の憂目に会ったと考えられます。この客観状況は「物性研究」時代になつて少しも変わらないばかりか新たに「物性」とか「固体物理」のような読者層をねらつたものも出来てきて、果して「物性研究」が必要かどうか

東北大 (広池研)

- Connected - Diagram Expansion of Transport Coefficients.
I. Electron - Impurity System System.
II. Quantum Gas obeying Classical Statistics.

(S. FUJITA)

- Point Transformations and the Hard Sphere Bose Gas.
(F. M. EGER and E. P. GROSS)

(堀江研)

- The Energy and Specific Heat due to an Impurity Atom in a Dilute Alloy (B. Kjöllerström, D. J. Scalapino, and J. R. Schrieffer)
- Strong Coupling Superconductivity I.
(D. J. Scalapino, J. R. Schrieffer and J. W. Wilkins)

編 集 後 記

編集長の碓井さんがこのたび名大に移られて、ふつつかながら私が編集の責任を引受けることになりました。

御承知のように「物性研究」は1962年7月号を最後に休刊になった「物性論研究」の後を受けて1963年10月に初刊が発行されたものです。終戦直後の研究者間の連絡組織や発表の場が十分でなかったときに「物性論研究」の果たした役割は大きなものでしたが、やがて基研が生れて研究会がたびたび開かれ、更に大規模な物性研が出来て研究者相互の連絡がよくなると、以前の(物性論研究) → (英文の paper) の順も(研究会) → (英文の paper) で十分合わせられると考えられるようになりました。すると英文にする程のこともないが「物性論研究」にでも投稿しておくかと云うようなものも現れて量・質共に低下して休刊の憂目に会ったと考えられます。この客観状況は「物性研究」時代になつて少しも変わらないばかりか新たに「物性」とか「固体物理」のような読者層をねらつたものも出来てきて、果して「物性研究」が必要かどうか

疑問を持たれる向も少ないと思います。

しかし碓井さん方の御努力で特集された講義ノートとか大学特集号とかはかなり好評で迎えられたようですし、誌上での論文についての討論もあつてまだまだ役に立っていると考えられますので、碓井さんに顧問になつて頂いて何とか努力して続けて行きたいと考えております。

「物性研究」は商業誌ではありません。購読規定にもありますようにこれは会員のものです。

ですから面白ければ買おう面白くなければやめればよいでは冷すぎると思います。商業誌ではありませんから編集方針としても売れることを中心にばかりは考えません。原稿の督促をするにも自ら限介があります。要は会員の御協力と御叱正があつて始めて成立つものと考えます。何とぞよろしくお願い申し上げます。

(松田)

*) 最近の号には書いてありません。

これは郵送のときの第3種としての取扱いの認可を得るためには会員組織では駄目だとか云うことで除いたものです。ところが後になつて活字印刷でないものはとにかく第3種を新しくは認可しないとかで、素研などは昔に認可されたからよいのだそうです。それで除いた意味は今では失われているし、最初の精神は貫かれていると考えています。

地方編集委員

北 大 大 野 公 男	教 育 大 宗 田 敏 雄
東 北 大 渡 部 三 雄	名 大 柏 村 昌 平
東大教養 小 出 昭一郎	阪 大 三 輪 浩
東 大 理 鈴 木 増 雄	岡 大 田 中 基 之
物 性 研 阿 部 龍 蔵	九 大 吉 田 健
東 工 大 三 宅 哲	

編集顧問 碓 井 恒 丸

京都編集部

松田博嗣(編集長)

村尾剛

西川泰治

都築俊夫

川崎辰夫

他に地方編集委員をお引受下さる方がございましたら御連絡下されば幸いです。

物 性 研 究

第6巻第1号

1966年4月20日発行

発行人 松田博嗣

印刷者 倉本作雄

京都市左京区岡崎徳成町11

発行所 物性研究刊行会

電話(77)8111 内線983

振替 京都 5312

京都市左京区北白川 追分町

京都大学 湯川記念館内

京都編集部

松田博嗣(編集長)

村尾剛

西川泰治

都築俊夫

川崎辰夫

他に地方編集委員をお引受下さる方がございましたら御連絡下されば幸いです。

物 性 研 究

第6巻第1号

1966年4月20日発行

発行人 松田博嗣

印刷者 倉本作雄

京都市左京区岡崎徳成町11

発行所 物性研究刊行会

電話(77)8111 内線983

振替 京都 5312

京都市左京区北白川 追分町

京都大学 湯川記念館内

目 次

Bound State due to s-d Exchange Interaction 芳 田 奎 1

Bound State in Metals due to a Fluctuating Perturbation..... 近 藤 淳 6

「s-d 相互作用で共鳴点が2つある」ということについて..... 倉 田 泰 幸 13

Excitation Spectrum of He II (I) 一 柳 正 和 20

議 義 ノ ー ト

統 計 力 学 (IV) 橋 爪 夏 樹 29

会 議 報 告

短期研究会, 共同利用委施設専門委員名簿 46

ニ ュ ー ス 49

プレプリント案内 49

目 次

Bound State due to s-d Exchange Interaction 芳 田 奎 1

Bound State in Metals due to a Fluctuating Perturbation..... 近 藤 淳 6

「s-d 相互作用で共鳴点が2つある」ということについて..... 倉 田 泰 幸 13

Excitation Spectrum of He II (I) 一 柳 正 和 20

議 義 ノ ー ト

統 計 力 学 (IV) 橋 爪 夏 樹 29

会 議 報 告

短期研究会, 共同利用委施設専門委員名簿 46

ニ ュ ー ス 49

プレプリント案内 49